

# 1月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類	13,686	97	15,293	221	110	233	-	0.0	静岡、長崎、愛媛、熊本、香川産中心の入荷となる。静岡は肥大良好で、2L、Lサイズ中心の出荷となる。入荷量は前年よりやや少なくなる。長崎も入荷量は前年よりやや少なくなる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。
りんご類	5,294	93	5,741	246	121	251	116	2.2	青森産が殆んどを占め、山形、岩手、秋田産も入荷する。品種はふじが中心となる。青森のふじはJA系統の入庫量が前年の90%程度となっている。果実の大きさは40玉中心で、着色、品質は良好である。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
いちご類	4,162	98	4,033	1,192	103	1,162	-	0.0	栃木、福岡、茨城、佐賀、静岡産中心の入荷となる。栃木は低温の影響で生育遅れが見られるものの、入荷量は前年並みとなる。福岡は生育が前進傾向で12月に前倒しで出荷されたため、1月の出荷量は前年より少なくなる。全体の入荷量はほぼ前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。
ほしがき	291	70	351	1,409	113	1,624	5	1.7	長野、山梨、和歌山産が中心となる。出荷を再開した福島産は震災前の10%程度の入荷となる。長野は前年の60%程度であり、中旬以降は入荷量が少なくなる。山梨も前年の70%程度と少ない。全体の入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回り平年並みとなる見込み。
メロン類	367	95	405	875	105	923	-	0.0	静岡、熊本、宮崎、高知産が中心となる。品種はアールス、アンデスなど。静岡のアールスは生育順調で前年並みの入荷となる。サイズは6玉8kg台中心の見込み。熊本のアンドスは着果、果実肥大とも順調で、2Lサイズ中心の入荷となる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回り平年並みとなる見込み。